

Catalogue No.

20480-653

653

残留塩素計

ご注文の際は、
ページ・番号・商品コードをご記入ください。

49
タイマー

50
濃度計他

43
ストレナー

44
給食用スバテラフ・
すくい網・ひしゃく

45
ストックポット・
保存容器

46
運搬・
ケータリング

47
ハカリ

48
温度計

わすらわしい残留塩素管理は、これで解消

塩素は経済面、安全面からも一番管理されなければならない、パラメーターのひとつです。現在、塩素は飲料水・排水・スイミングプール・産業用装置・クーリングタワー等、様々な所で殺菌・消毒用に広く使われています。そのほとんどに残留塩素量の基準があり、厳密な残留塩素量の管理が必要です。ハンナの残留塩素計はDPD試薬を使用し、1/100ppmまで検出可能なコンパクト残留塩素計です。煩わしい残留塩素管理はこれ一台でOKです。携帯、保管に最適なプラスチック製キャリングケース付でありながら驚くべき低価格を実現。比色板、発光性のあるオルトトリジンに変わる優れものです。



①ハンナ 残留塩素計 (キャリングケース付)

商品コード	価格
HI 96701C 遊離塩素用	7354220 ¥64,000
HI 96711C 遊離/全塩素用	7354320 ¥67,000

品番	HI 96701C	HI 96711C
測定範囲	遊離塩素 0.00~5.00 ppm 全塩素 不可	0.00~5.00 ppm 0.00~5.00 ppm
検出単位	0.01 ppm (0.00~3.50 ppmの場合) 0.10 ppm (3.50 ppm以上の場合)	
精度 @ 25℃	±0.03 mg/L 土測定値の3%	
発光光源	タングステンランプ	
受光部	フィルター装置付シリコンフォトセル525ナノメーター	
使用試薬	DPD (試薬はすべて別売りです)	
外部環境条件	0~50℃ (相対湿度95%以下)	
電源	9V (アルカリ電池) 1本	
電源オフ	10分の未使用で自動オフ	
外形寸	102×192×67 / 360g (本体)	

付属品: 残留塩素計本体・測定用ガラスセル2個・はさみ・電池・取扱説明書・専用中敷付ハードキャリングケース

※日常防水加工



ハンナ 遊離塩素計用試薬

商品コード	価格
② HI 93701-01 100回分	7354400 ¥3,900
③ HI 93701-03 300回分	7354500 ¥10,900

ハンナ 全塩素計用試薬

商品コード	価格
④ HI 93711-01 100回分	7354600 ¥3,900
⑤ HI 93711-03 300回分	7354700 ¥10,900

⑥残留塩素計サンプル採取用 ガラス容器(4ヶ入)

HI 731331 7354810 ¥4,200

⑦残留塩素計サンプル採取用 ガラス容器用キャップ(4ヶ入)

HI 731335 7354910 ¥2,300

〈残留塩素の種類〉

残留塩素とは塩素処理の結果、水中に残留した有効塩素(酸化力を有する形の塩素)をいいます。残留塩素には2つの種類があり、1つは遊離残留塩素(次亜塩素酸HClOおよび次亜塩素酸イオンClO⁻)です。一般にこの塩素濃度の測定が衛生管理上特に重要になります。もう1つは結合残留塩素(アンモニアや有機性窒素化合物などと結合した塩素)があります。この結合残留塩素にはあまり有効な殺菌力がありません。そして、2種類の残留塩素(遊離残留塩素と結合塩素)を合わせて全塩素と呼びます。

〈残留塩素の測定〉

残留塩素計HI-96701C型は遊離残留塩素のみを測定、HI-96711C型は遊離残留塩素と全塩素の2つを測定することができます。遊離残留塩素のみを測定する場合と遊離残留塩素と結合塩素を合わせた全塩素を測定する場合の二通りがありますが、水道法では実際に蛇口から出る水の遊離残留塩素は0.1ppm以上を保持するよう塩素消毒することが義務付けられています。

⑧残留塩素測定器 DPD法

商品コード	価格
試薬なしセット	3875600 ¥10,500
試薬付きセット	3875610 ¥12,100

角形試験管シリコンキャップ付き(3本入) 3875620 ¥3,500
交換用ビニールケース 3875630 ¥2,300
DPD法粉体試薬(100回分) 3875640 ¥1,800
DPD法粉体試薬徳用(500回分) 3875650 ¥6,800
ヨウ化カリウム(20g) 3875660 ¥4,000

●DPD試薬は粉体試薬で、1回1袋の分包タイプです。標準の100回分試薬と徳用の500回分試薬があります。
●DPD試薬にはpH緩衝剤も含まれていますので、検液のpHを調節し、安定した発色測定ができます。(pH3~10の検水であれば安定した測定ができます)
●オプションのヨウ化カリウム試薬を併用すると総残留塩素の測定ができ、総残留塩素濃度と遊離残留塩素との差から結合残留塩素濃度を求めることができます。



⑨ハンナ HI 93701-FJ 遊離塩素試薬 (錠剤500回)

7354721 ¥12,000



⑩ハンナ HI 93701-TJ 全塩素用試薬 (錠剤300回分+液体1本)

7354711 ¥10,200



残留塩素の測定のDPD(N,N-ジエチルパラフェニレンジアミン)法

残留塩素とは水道の水の中に存在させることが必要な遊離残留塩素と結合残留塩素とを合わせたもので、その水に含まれる物質に対する殺菌や酸化反応に有効に作用し得る塩素化合物のことを指し、残留塩素を含む水にDPD試薬を加えると、残留塩素の量に応じて淡赤紫色~赤紫色に発色する反応に基づくものです。